

エレベーターにのるとき

**じしん、かじ、おおあめでみすびたしの
ときに、のってはいけません**



⚠ 危険

災害時、エレベーターを使用すると、次のような二次災害を引き起こすおそれがあります。
地震時: 停電や機器の故障・損壊などで閉じ込められる。
火災時: 停電や機器の故障で閉じ込められたり、火や煙にまかれる。
冠水時: 停電や機器の故障で閉じ込められる。漏電により感電する。

**ヒモやクサリ、コードなどが
とにはさまれないよう
きをつけましょう**



⚠ 危険

ペットのヒモやマフラー、なわとびなどヒモ状のものが戸に挟まれたままエレベーターが動くと、利用者(またはペット)が重大な事故にあうおそれがあります。また、故障につながるおそれがあります。
*かご内に乗り込んだ際に、万が一戸に挟まれたときは、すぐに戸開ボタンを押して取り除いてください。

**かべとてすりのスキマなどに、
あたまやうでをはさまないでください**



⚠ 危険

かご内の壁と手すりのスキマに腕や頭など無理に入れると抜けなくなるおそれがあります。

**とによりかかったり
さわらないようにしましょう**



⚠ 警告

戸に寄りかかったり、手を触れていたりすると、急に戸が開いて転倒したり手を引き込まれたりして、ケガをするおそれがあります。

**とがしまりかけたら
むりにのらないようにしましょう**



⚠ 警告

戸が開まり始めてから無理に乗り込もうとすると、戸にぶつかったり、戸に挟まれたりして、ケガをするおそれがあります。

のりばであそんではいけません



⚠ 警告

エレベーター付近で遊んでいると、他の利用者に迷惑がかかったり、戸に挟まれたり転倒したりするなど、思わぬ事故が起こるおそれがあります。

ちいさなこどもだけでのってはいけません



⚠ 警告

小さなお子さまには必ず保護者の方が付き添ってください。お子さまの思わぬ行動による事故が起こるおそれがあります。また、停電などで停止した場合、お子さまだけでは対処できません。

**スキマやあなに
ゆびをいれてはいけません**



⚠ 警告

戸の隙間やファンの穴などに指や細い物を入れると、ケガをしたり、破損・故障の原因となるおそれがあります。

とんだりはねたりしてはいけません



⚠ 警告

かご内で跳びはねたり、ゆすったりすると、安全装置が作動して、閉じ込めのほか思わぬ事故が起こるおそれがあります。

ボタンやスイッチはていねいにおしましょう



⚠ 注意

ボタンやスイッチを固い物やとがった物で突いたり、強く押したり、たたくなど乱暴に扱わないようご指導ください。故障や破損の原因となる場合があります。

ボタンをいたずらしてはいけません



⚠ 注意

用のないボタンやスイッチにみだりに触れていると、他の利用者の迷惑となったり、故障や破損を引き起こす原因となる場合があります。また、誤って人の乗降中に「戸閉」ボタンを押すと、ケガをさせるおそれがあります。

**知らないひとがいたら
きをつけましょう**



⚠ 注意

夜間などにエレベーターを利用する際は、すぐにボタンが押せる操作盤の近くに乗るようにご指導ください。

*非常用押ボタンや防犯カメラなどの設置も効果的です。

危険・警告・注意のマークについて
本冊子の記載項目のうち、取り扱いを誤ると利用者に危害をおよぼす危険性があるものについて、その度合いを示すマークを付記してあります。

⚠ 危険 取り扱いを誤った場合、利用者が死亡あるいは、重症を負う可能性が極めて高くなります。

⚠ 警告 取り扱いを誤った場合、利用者が重傷を負う可能性があります。

⚠ 注意 取り扱いを誤った場合、利用者が傷害を負う可能性があります。または、機器が損傷する可能性があります。